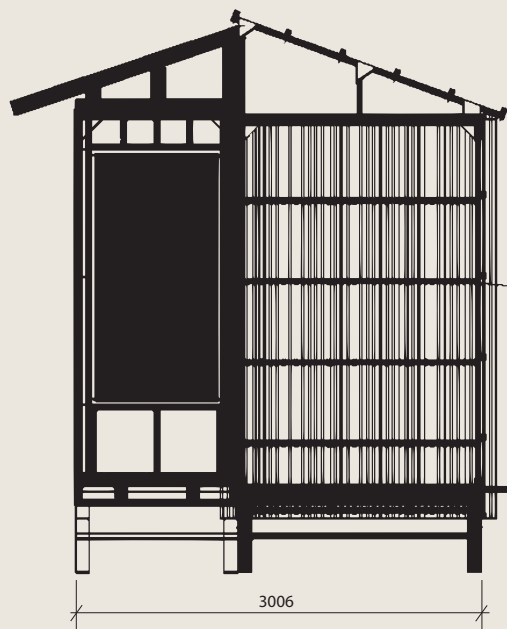




OPEN HOUSE

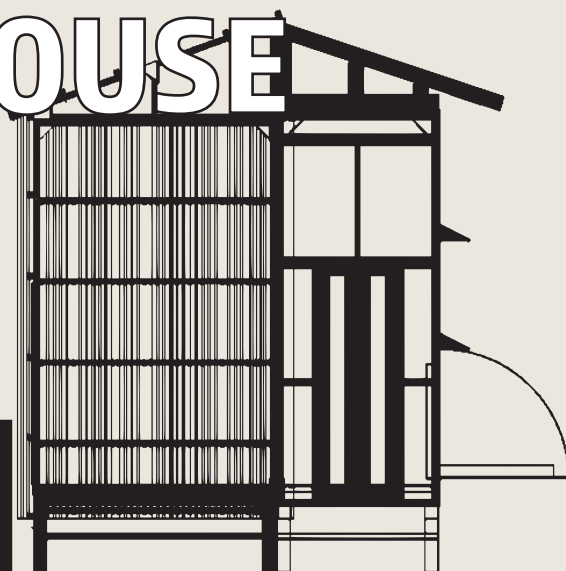
2019

8.30.Fri

I

9.16.Mon

12:00-18:00



耕す家ーオープンハウス、

予約制、見学無料

TRANSMISSION PANG PANG DAIJOSAI

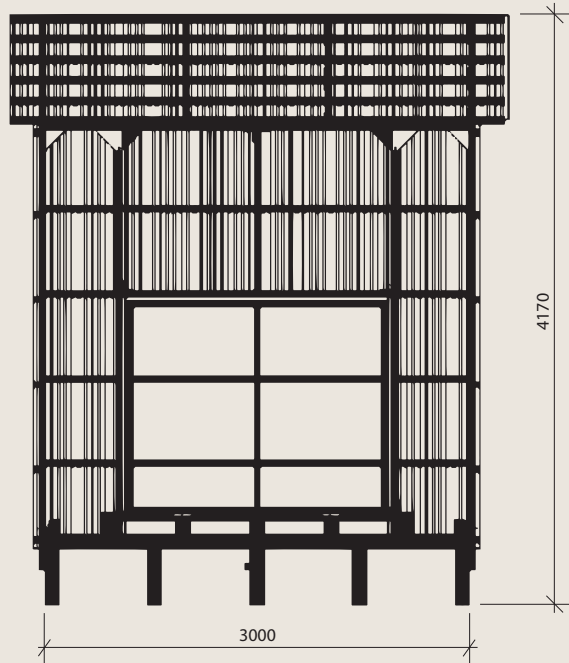
2019

9.14.Sat

I

9.16.Mon

14:30-17:30



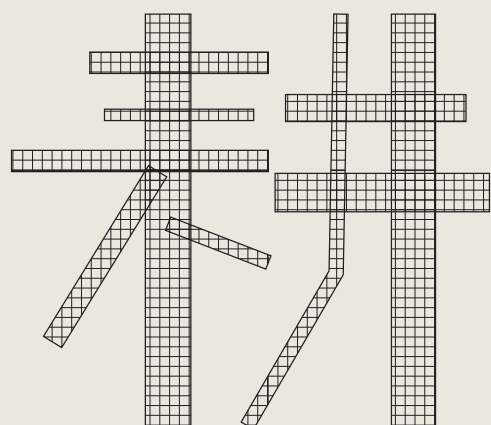
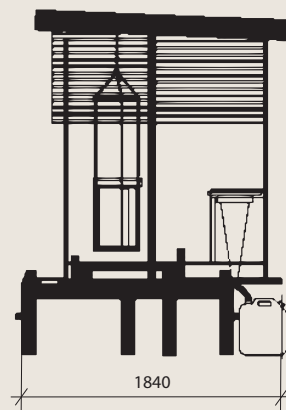
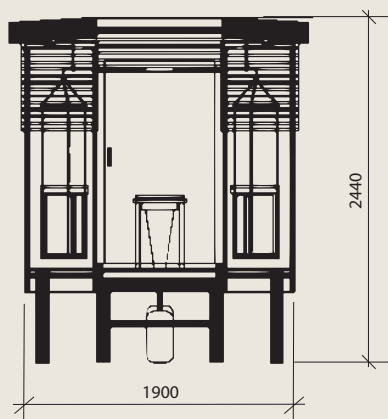
TRANSMISSION PANG PANG

大嘗祭

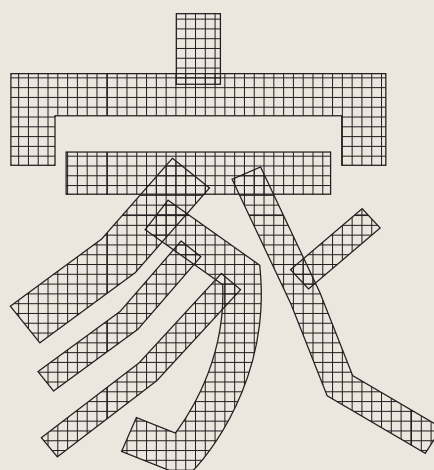
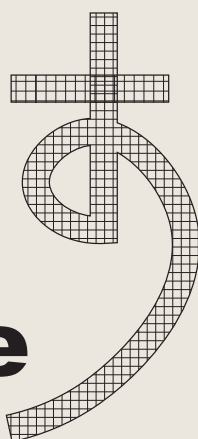
予約制、各日：定員 10 名

参加費 2000 円 (送迎、お土産付き)

場所：千葉県香取市、某所



Cultivate



House



OPEN HOUSE

2019
8.30.Fri
I
9.16.Mon
12:00-18:00

耕す家オープンハウス

2019年8月30日(金) - 9月16日(月)

※9月6日(金)は見学不可

12:00-18:00

予約制、見学無料

場所：千葉県香取市、某所

見学内容

1. 『耕す家』内部
2. 農作業：稲刈り、乾燥、脱穀
3. 制作：土粘土での立体物の制作、野焼き、木版リトグラフによる版画など。
4. 食事：かまどでの食事作りや湧き水で淹れた冷たいお茶やコーヒー。
5. トイレ：水を使わず土に還すシステム。
6. 公開ミーティング

装備：汚れても良い服装、日よけ、虫除け対策
長靴(雨天時)

TRANSMISSION PANG PANG 大嘗祭

2019年9月14日(土) - 9月16日(月)

14:30-17:30

予約制、各日：定員10名

参加費2000円(東京からの送迎、お土産付き)

耕す家シャトルバス

集合場所：品川駅高輪口(12:00)

参加方法

以下の内容を記載し、前日までにメールにてご予約ください。

件名：「耕す家訪問希望」または、「TMPP 大嘗祭参加希望」

本文：名前、訪問日時、人数、交通手段、電話番号

メール

mail@olta.jp

来場方法

公共交通機関をご利用の場合は、JR小見川駅、もしくはJR佐原駅にて下車。その後、バス、またはタクシーに乗り換え。ご来場方法により、バス停、または近くの住所をお知らせします。車でのご来場の際は、駐車場所をご連絡します。

協力：青森県立美術館、東京藝術大学大学院映像研究科 RAM Association

助成：公益財団法人 アイスティル芸術スポーツ振興財団

TRANSMISSION
PANG PANG 大嘗祭

2019
9.14.Sat
I
9.16.Mon
14:30-17:30

耕す家

Cultivate House

この度アーティスト・コレクティブ、オル太は、農耕と芸術を通じたローカルな視点から自身の生きる活動を問う『耕す家』(英：Cultivate House)を千葉県北東部の農村地域に設営しました。山と田んぼに囲まれた土地には、他に家はなく、住民は田んぼよりも上の土地に居を構えています。本プロジェクトを通じて、以前は田んぼだった住むことに適さない土地(不耕作地)で住みよい生活を整えることや農作業、野焼きや版画などの制作を行い、日々記録し、土の上での営為を探ります。それに伴い、8月30日より『耕す家』を通じた活動を公開するオープンハウスを実施し、9月14日から16日にかけては、収穫を祝い来場者と共にボードゲームを上演する『TRANSMISSION PANG PANG 大嘗祭』を開催します。

また、本プロジェクトは、今秋に開催される青森県立美術館での展覧会「青森 EARTH2019：いのち耕す場所 - 農業がひらくアートの未来」(会期：2019年10月5日 - 12月1日)に出品を予定しています。

皆さまのご訪問を心よりお待ちしております。

TRANSMISSION PANG PANG 大嘗祭とは

ボードゲームのプレイを通して、現代における伝承や伝達のあり方を考察するプロジェクト、TRANSMISSION PANG PANG を稲の収穫と掛け合わせた上演。

2017年より韓国ソウルを拠点に活動する「OPEN CIRCUIT (開放回路)」とオル太が共同で企画を立ち上げ、各地で祭りや民謡のリリースを行い、その成果と古代インドで親しまれたボードゲーム「蛇と梯子」を元に独自のボードゲームを制作しました。ゲームで用いるカードには、祭りや民謡の身振り、祭りに用いる道具、飲酒などの行為が記されており、プレイヤーは引いたカードに描かれた様々な身振りや道具を組み換えながら実際に演じていきます。これまでに「TRANSMISSION PANG PANG」(ELEPHANT SPACE、ソウル、2017)、「TRANSMISSION PANG PANG in OKINAWA」(BARRAK、沖縄、2018)、「TRANSMISSION PANG PANG in ITAEWON」(5%、ソウル、2018-2019)を開催しています。

オル太

井上徹、川村和秀、斉藤隆文、長谷川義朗、メグ忍者、Jang-Chi の6名からなる表現集団。2009年結成。いずれも多摩美術大学絵画学科油画専攻出身。人間の根源的な欲求や感覚について、自らの身体を投じたパフォーマンスを通じて問いかけている。これまで参加した主な展覧会に「Hybridizing Earth Discussing Multitude」(釜山ビエンナーレ、韓国、2016)、「パノラマ庭園 - 動的生態系にする」(アッセンブリッジ・ナゴヤ、名古屋、2016)、「FAKE BONES」(Lilith Performance Studio、スウェーデン、2015)、「内臓感覚 - 遠く近い生ノ声」(金沢21世紀美術館、石川、2013)などがある。

2011年、第14回岡本太郎現代芸術賞展で岡本太郎賞受賞。
<http://www.olta.jp/>